デジタル トランスメーションの進捗状況に関する調査ii

加速するデジタルワールドで競争する

世界的に、デジタルトランスメーションの進展は遅れています。デジタルリーダーに分類される企業は、2016年と同じく、わずか5%です。現在の状況そして今後の動向はどうなっているのでしょうか？

デジタル後進企業	デジタルフォロワー	デジタル評価企業	デジタル導入企業	デジタルリーダー
9% 15%	30% 32%	33% 34%	23% 14%	5% 5%
デジタルトランスフォーメーションを組織全体に広げる必要があると考えている	デジタルへの投資はごくごくなく、暫定的なプランに留まる	デジタルトランスフォーメーションを体系的に採り入れ、プランニングを行う	成熟したデジタルプラン、投資、オペレーションが確立している	デジタルファーストのDNAに組み込まれている

ビジネス環境を塗り替える

デジタルトランスフォーメーションを組織全体に広げる必要があると考える

5年以内に顧客の需要変化に対応するのに苦慮するだろうと考える

デジタルトランスフォーメーションへの大きな障害に直面している

デジタル化の進展を遅らせているものは？

デジタル化の障害トップ5：

1. データのプライバシーとセキュリティに関する懸念
2. 予算およびリソース不足
3. 社内における適切な人材と専門知識の不足
4. 規制および法的な変更
5. 未熟なデジタル文化

デジタルトラスト問題

1/2

今後5年間で信頼できることを証明するのに苦慮するだろうと報告

1/3

自社が以下を実行できるとは思っていない：
- 規制（GDPRなど）を遵守する
- 従業員のデータを保護する
- 顧客のデータを保護する

救済計画の策定

この「変革するか死ぬか」の状況で、企業はこれらの障害を乗り越えると共に、信頼を回復するプランを策定

77%

顧客の需要を予測し、リソースの管理に新たな技術を活用する予定

68%

サプライチェーンの透明性、追跡可能性、効率性の向上に新たな技術を利用する予定

IT投資分野

セキュリティ
58%

インターネット・オブ・シングス
46%

マルチクラウド
44%

人口知能
40%

トップ労働力投資分野

46%

27%（2016年）

社内のデジタルスキルと人材を育成している（従業員にコーディングを指導するなど）

44%

19%（2016年）

部門を超えて知識を共有している（ビジネススキルを備えたITリーダーとITスキルを備えたビジネスリーダーを配置するなど）

まとめ

「デジタルトランスメーションの進捗状況に関する調査」により、大多数の企業が完全なデジタル化になるのはまだ先のことであることがわかりました。これらの企業のデジタル化した未来を実現するためには、あらゆる企業が、データを装備した、マルチクラウドの世界で稼働する、根底からのデジタル化を行う必要があります。今こそ実行の時です。大きなチャンスがまだ残っている間に。

DellTechnologies.com/DTIndex

出典：Vanson Bourne Digital Transformation Index Survey（2018年8月のVanson Bourne社のデジタルトランスメーションの進捗状況に関する調査）。40ヵ国以上、10業界で、従業員250名以上の企業のビジネスリーダー4,600名を対象に実施。
リストの一部は明確にするために短縮しています。

インテルおよびインテルのロゴは、Intel Corporationまたはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。